

**被爆73周年**

**原水禁神奈川平和行進**

**核のない平和な世界をめざして！**

**県内平和行進に  
1710名が参加！**

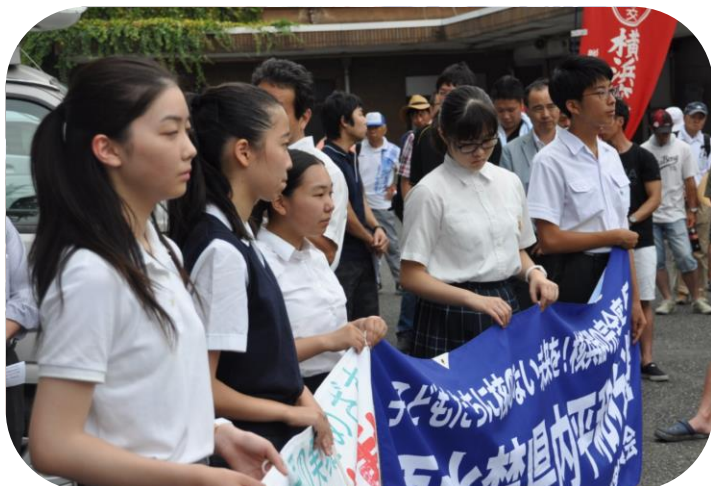
7月24日(火)～27日(金)の4日間、酷暑のなか神奈川県内において被爆73周年原水禁平和行進が厚木市役所を皮切りに行われました。最終日の県庁前集約集会では県内23ブロック、合計1710名の参加、県庁前集約集会には430名の参加が報告されました。



**高校生平和大使を国連軍縮本部に送ろう！**

▶ 県実行委員会を代表して挨拶した福田護氏は「私たちは戦後73周年、平和な日本を築いて来た歴史がある。しかし安倍総理は昨年5月のメッセージで憲法9条に自衛隊を明記する提言した。今年の原水禁大会は重大・重要な時期を迎えている。核兵器の廃絶、原発の廃止、更に被爆者の権利の確立などの実現のために今日の力を結集し、世界に向けて発信して行く、そういう集約にしたい」と提起しました。

▶ 第21代高校生平和大使の佐藤さんは「今年も全国で20名の高校生平和大使が選出され、核廃絶と平和な世界を実現するための署名を8月に国連軍縮本部に届ける。皆さまの署名は国連で永久保存される。私がこの運動に関わり被爆者の証言を聞き一番印象に残った言葉は『被爆体験は語りたくて語るのではなく語らざるを得ないから語る』。是非高校生平和大使を国連に送るためのカンパにご協力を」と訴えました。



集約集会で署名とカンパを訴える高校生平和大使の皆さん





高校生平和大使  
高校生1万人署名活動



## 日本も核兵器禁止条約に参加すべきだ！

▶丸山 進(神奈川県原爆被災者の会会長)さんは「県内には原爆被災者は3400名が住んでいる。広島・長崎・フクシマ、これ以上、あの過酷な悲劇を作ってはいけないし次世代に経験させてはいけない。昨年、核兵器禁止条約が世界122カ国で採択されたが被爆国である日本は今も参加していない。メンバーは高齢化が進んでいるが日本政府がこの国際署名をするよう今後も後押ししていく」と述べました。

集会は道田哲朗県実行委員会事務局長の団結ガンバロウで閉会しました。

## ➡西日本豪雨災害支援義援金カンパも行う

ブロックによっては被爆者支援カンパのための街頭宣伝に「西日本豪雨による被災者支援義援金のお願い」を合わせてお願いしたという報告もありました。被爆者支援カンパ金は広島・長崎被爆者団体協議会へ、西日本豪雨による被災者支援義援金は日本赤十字社を通じて被災者に送られます。

